

銀漢亭日録



伊藤伊那男

8月31日(金)

▼家政婦の安藤さん家の掃除。発行所「野村句会」終つて六人店。山崎祐子さん御子息と。そこそこの入り。「文藝春秋」より十一月号へ七句出句の依頼。

9月1日(土)

▼昼、本郷菊坂上・鳳明館。一泊二日「五十句鍛練句会」。四十四人集合。柴山つぐ子さんより嬌恋村の唐もろこし二十五本程前日届いたので茹でて持参。まず持ち寄り十句句会全員で。あと三班に分けて席題で五句出し句会三回。終ると零時。

2日(日)

▼七時、朝食。八時半より五句出し句会を三回。途中豪雨。最後に事前投句の十句分の披露。十六時終了。安曇野から来た北澤一伯君、事業部その他十五人程で「ジョナサン」にて打上げ。

3日(月)

▼八月の月次収支まとめなど。並びの焼肉店「牛王」店閉めたか？ 真つ暗。店客少なし、四人。二十一時十五分閉める。最悪！ 家近くの居酒屋に寄る。鯛の叩き、煮込、ほつけ焼、おくら、納豆など。

4日(火)

▼「五十句鍛練句会」の私が参加していなかった他班分の選句。ガスの給湯器故障にてノリツにきてもらう。経年劣化で取替え。明日工事。三十数万円と。トホホ。冷たいシャワーを浴びる。店、イマイチ。二十一時半、閉める。駒ヶ根市の同じ町内で育ったという先輩、岩波書店の社友・今井康之さんが訪ねてくれる。会計士の藤井さんなど、帰路、地元の「ヴァイテイク」へ久々。

12日(水)

して貰い、一緒に飲む。

14日(金)

▼発行所「さらざ句会」。選句あと六人店。丁度、「北軽井沢句会」の佐藤さゆりさんよりキャベツ大量に到来。皆にお裾分け。二十二時、閉めて伊那北同期「高遠句会」の大野田、展枝、いづみさんと「酔の介」。

13日(木)

▼「高遠句会」選句。角川通信添削教室「一枚」など。店、堀切、文子、初子、金井……あと「天為」の方々。全体閑散。

14日(金)

▼午前中、家政婦の安藤さん掃除。久々、アメ横「大東商店」で松茸沢山買う。あと「吉池」で仕入れ。松山、五日市、洋、有史さん……。

15日(土)

▼九時、「宗楽整体」。効く。戻つて一眠り。十五時、成城、桃子の家。杏と子供も来る。焼松茸、松茸のスキ焼、からすみ大根、巾着茄子煮びたしなどで酒盛り。

16日(日)

▼「銀漢」十一月号選句、「文藝春秋」十一月号に七句、「俳句」十一月号、大牧広「大森海岸」の一句鑑賞文送る。「銀漢」の選評書き始める。今月は好スタート！ 北軽井沢句会第百回記念句文集「きたかる」到来。温かな誌面。

19日(水)

▼店「三水会」七人。ようやく同期の光汪が「銀漢」へ投句すると。発行所は「はてな句会」終つて岸本尚毅、今井肖子、阪西敦子さんなど。山崎祐子さん、私のファンだと言つてくれる。金沢の小谷延子に伴つて。

20日(木)

▼発行所句会あとの「天為」の方々。「銀漢句会」あと十九人。伊那北高校の先輩、井口さん店を捜して来て下さる。土肥あき子さん夫婦で。

21日(金)

▼「野村句会」終つて五人店。狭心症の手術二人。入院一人と。野村證券の平均寿命は低いのだ。養生を！ 「爽樹」の

5日(水)

▼「銀漢」十月号校正。給湯器設置工事。店、「さらざ句会」あと八人。「宙句会」あと三人。広渡敬雄さん部下と四人。水内慶太、水香、小山さん。小池百人君、子息、その婚約者と。

6日(木)

▼平成俳壇選句など。店、武田編集長と三菱商事時代の部下二人。そこへ松山さんが加わり俳句をやれ！ と囲い込みへ。「港」の小太郎さん。発行所「十六夜句会」あとは八人店へ。

7日(金)

▼店、「未来図」の真砂年、守屋編集長など計四人。発行所「大倉句会」あと十四人店。清人さん鳥賊焼。

8日(土)

▼目が覚めると九時五分前。しまった！ 大慌てでシャワー。バニラのお散歩勘弁してもらつて発行所へ向う。十時、運営委員会。十三時より「銀漢本部句会」五十二人。終つて「庄屋」にて親睦会十数名。あと渋谷「ふくちゃん」に寄る。平目、栄螺の刺身。吉祥寺まで寝過す。

9日(日)

▼夏の疲れか、選句しながら寝たり起きたり、ぐずぐずと。十六時、桃子が迎えに来てくれて成城。焼松茸、鱧すき、からすみ、「モエ」のピンク。あと「越乃寒梅」二本を三人で空けてしまふ。

10日(月)

▼平成俳壇の締切日を十五日と思ひ込んでいたところ次の分の宅急便が到来。今日が締切日であつたことを知り大慌て！ 店、対馬さん久々。アンコールワットに行つた。発行所「かさざき」勉強会。久保田万太郎と。あと十人店へ。

11日(火)

▼しゃかりきに平成俳壇の選句終えて返送。店「火の会」。広渡敬雄さんの角川賞、峯尾文世さんの『街のささなみ』出版を祝う。「月の匣」の水内慶太、夏緒水香さん来店。選句

22日(土)

▼十時、発行所、編集会議。来年の「銀漢」について。みっちり三時間。デザイン馬場龍吉さんにも来て貰う。十五時から「纏句会」十四人。終つて「咸亨飯店」にて親睦会。紹興酒がうまい！ うまい！ あと一人で「大金星」。焼酎二杯ほど。

24日(月)

▼発行所、十月号発送。「湯島句会」九十九人出句。ただし集つたのは二十八人といつてもより少なく淋しい。

25日(火)

▼「銀漢」エッセイ書く。ひまわり館「萩句会」へ選句に。店、瑞香さんグループ(対馬さんの生徒)。「月の匣」水内慶太さん、ランブルの記念パーティーの帰路。祐森編集長以下、句会の帰りと合流。水内さん選句選評などしている。娘婿・宮澤、講談社の五十嵐さんと。伊集院静さんと新企画の打合せの帰路と。

26日(水)

▼店、伊那北高校の八年程先輩の下島、池上さん来店。下島さんは新コスモス電機社長。池上さんは三菱商事あと、東大赤門学友会副会長と偉い方々。お客さん少なく、二十一時、閉めようとしていたところへ一平、うさぎ、真一さんなど。

27日(木)

▼店、春行士さん、松山さん、初対面。二人共銀行員同士。奥「雛句会」。宗一郎、有史さん、森濱君……。

28日(金)

▼安藤さん掃除に入ってもらう。発行所「金星句会」。三人は淋しい。天野小石さん誕生祝とて有史、洋、対馬さんなど。結局、「ヴァウクリコ」六本！ 空く。